

2009・広大マスタースズ市民講座報告

第2回「家族で挑戦！野っ原探検講座」 「みどりの牧場で土の世界探検」

安藤 忠男

9月13日（日）午前10時～午後3時、広島大学構内の広島大学瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター西条ステーション（附属農場）で第2回講座を開催しました。7家族21名の参加者、2名の東広島市職員、2名の広島大学学生アシスタント、安藤ナビゲーターが秋晴れの牧場を楽しみました。

午前中は土を使った実験と遊びで“土の世界”を探検。“土はなに色？”、“土はなぜにごる？”、“土の隙間はどのくらい？”と言ったクイズに推理と実験で確かめながら“土ってなんだろう？”に挑戦しました。土の色は赤、黄、青、黒、茶などと“色色”でした。（写真1）



写真1

次は土に水を加えて好きなものを作る泥んこ遊び。チョコボールやケーキ、家で飼っているハムスターなどの動物など様々な作品ができました。（写真2）

農場管理棟前のきれいに刈り込まれたローンで昼食後、牛さんたちご挨拶をしました。みなさん目の前にいる巨大な動物の鼻息に圧倒されたようでした。（写真3）

午後はみどりの牧場に出て、地面の下を覗き、岩から土ができてくることを確かめました。（写真4）その後は学生アシスタントの秋月さんと桑原さんの指導でゲームをし、広い牧場を走り回っ

て遊びました。（写真5）

子どもたちは全員インフルエンザにも負けず、みどりの牧場を堪能してくれたようです。



写真2



写真3



写真4



写真5